

## 令和6年度事業報告について

### 1 令和6年度「札幌市歴史文化のまちづくり推進事業」企画支援及び実施業務

- ・ 札幌市の文化財や歴史文化について、観光拠点となる都心部の文化財等を中心に、観光やまちづくりの資源として一層の活用を進めることで、委託者が目指す「文化財の価値を多くの市民が共有し、大切に次の世代へ引き継いでいく、歴史文化の魅力あふれる都市」の形成に寄与することを目的としたもの。
- ・ 札幌市負担金及び文化庁補助により、下記の事業を実施した。
- ・ 下記(1)～(4)の企画・運営について、令和6年6月27日に業務委託した。

【業務受託者】株式会社ノーザンクロス

#### (1) 市民ワークショップの開催

##### ア 開催時期

第1回：令和6年8月31日（土）13:00～15:30

第2回：令和6年9月7日（土）13:15～16:15

若者向け：令和6年11月5日（火）18:30～20:30

##### イ 内容

令和6年度に設定する関連文化財群等の検討の参考とする市民意見等を効果的に把握するため、テーマに関連する札幌の文化財を掘り起こし、その価値や魅力について、観光やまちづくりへの活用の観点で意見交換を行うワークショップを開催した。定員20人に対して41人からの応募があった。

##### 【第1回】

今年度は「路面電車」をテーマとし、専門家（和田哲氏）による講演の後、市民、ヘリテージマネージャー・コーディネーターがグループに分かれて、路面電車に関する魅力や関連する文化財について活発な意見交換を行った。



講師の講演



グループごとの意見交換①



グループごとの意見交換②



発表

## 【第2回】

第2回は実際に路面電車に乗り、関連する文化財について深く学び、現地で体験したことを踏まえ、札幌の路面電車の価値や魅力、活用について改めて検討した。



貸切路面電車  
和田哲氏からの話題提供



グループごとの意見交換

## 【若者向けワークショップ】

過去のワークショップにおいて、参加の少ない若年層(主に年齢層 20代～30代)をターゲットに、文化財への興味喚起を行うとともに、若者視点での文化財の活用方法、取組アイデアについて意見交換を行った。出てきた意見はシンポジウムに反映するなどその後の事業展開に活用した。

講師は和田哲氏、参加者は16人。



札幌の歴史文化に関する講演  
(和田哲氏)



グループごとの意見交換



発表①



発表②

## (2) ボランティアガイド講習会の開催

### ア 開催時期

令和6年9月28日（土）13：00～16：00

### イ 内容

前半は講演形式、後半は実践形式により開催した。前半は地域の味わいを深める札幌ならではの「風物詩」をテーマに、四季折々の札幌の姿について講演を聴いて学び、後半は実践形式として、有償ガイドのまち歩きツアーに参加してユニークな視点やガイドのアイデアを実際に体験して学んだ。

講師は前半が田山修三氏（北海道文化財保護協会副理事長）、後半が伴野卓磨氏（DiscoverEZO主宰）、参加者は20人（応募者54人）であった。



前半 講師 田山修三氏



後半 講師 伴野卓磨氏



まち歩きの様子（テイスティングゲーム）



まち歩きの様子（レンガのマーク探し）

## (3) シンポジウム「さっぽろれきぶんフェス」の開催

### ア 実施時期

令和7年2月16日（日）10：00～16：00

### イ 会場

地下歩行空間 北3条交差点広場

### ウ 参加人数

パネル展示閲覧者約982人、体験プログラム参加者94人、ステージプログラム視聴者110人（※ステージプログラム視聴者数はアンケート回答数より）

### エ 内容

- ・ 札幌の文化財や歴史文化の価値及び魅力を周知・啓発するシンポジウム。
- ・ パネル展示、パネルディスカッション等ステージ企画及び体験ブースの企画
- ・ 開催前の期間は、若い世代の来場者増加を目的に、Web上に特設ページを開設

し、インスタグラム等を活用して周知や広告を行った。

### 【パネル展示】

協議会の活動内容、郷土資料館、関連団体の取組のほか、今年度設定した関連文化財群とストーリー「札幌の路面電車編」の紹介。

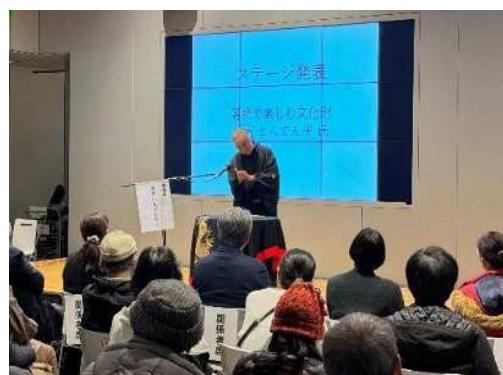


### 【ステージ企画】

- ・ 講演①「路面電車おもしろ歴史」 講師：和田哲氏
  - ・ 講演②「遺産風景の撮り方」 講師：岸本日出雄氏
  - ・ ステージ発表「落語で楽しむ文化財」 演者：林家とんでん平氏
  - ・ パネルディスカッション
- テーマ：札幌の歴史文化の楽しみ方・生かし方  
パネリスト：池ノ上真一氏（学識者）、池ノ上研究室の学生  
柴田寿治氏（まちづくり）  
中根萌氏（旅行商品企画・造成）  
和田哲氏（調査研究・活用・発信）



講演②



ステージ発表



パネルディスカッション



会場の様子

## 【体験プログラム】

- ・ 札幌軟石を使った路面電車づくりと、路面電車のペーパークラフト  
今年度設定する関連文化財群とストーリー「札幌の路面電車編」にちなんだ工作等を体験できるブースを設けた。



- ・ 冬の街歩きツアー  
札幌の歴史文化を学び楽しむ冬の街歩きツアーを開催した。大通や創成通等を歩き、周辺の文化財をたどりながら札幌のまちの成立ちを学んだ。  
講師は松岡洋一氏（元札幌市文化財保護指導員）、参加者は11人。



- ・ フォトコンテスト  
若年層が歴史文化や文化財に关心を持ち、実際に足を運んでもらうための企画として、札幌市の文化財等の写真を投稿してもらうフォトコンテストを開催した。  
応募期間（1/17～2/10）の間で262件の応募があり、シンポジウム当日は人気投票を行い、1,030件の投票があった。コンテスト上位入賞作品は旧永山武四郎邸及び旧三菱鉱業寮のギャラリーに展示された（3/9～3/18）。



(4) 関連文化財群等のPR及び構成文化財等の周遊促進一般向けパンフレット作成

ア 配架

2,000部作成し、シンポジウムでの初配架後、市内文化財施設、各区役所等で順次配架したほか、札幌市HPでも公開した。

イ 内容

令和6年度の市民ワークショップにおける意見を踏まえて設定した関連文化財群及びストーリー「札幌の路面電車」をコンテンツとしたパンフレットを作成した。ストーリーのほか、関連施設などの情報も盛り込み、周遊促進につながる内容とした。



札幌の路面電車編ストーリー

## 札幌の路面電車の歴史をたどる

#### —今も変わらず愛される市民の足

札幌の路面電車のルーツは1909(明治42)年に開業した函館鉄道で、1918(大正7)年に電車両へ転換。札幌の人口増加とともに需要が大きくなりました。最初期には、新琴似や中島、平岡駅前、円山公園までは延伸し、札幌の交通網の基礎を築きました。地下鉄開通後も沿道の変化とともに路線延伸が小歩ますが、1955(平成2)年には路線がループ化されて利便性が向上。新しい技術を取り入れた車両や駅舎が導入される一方、大正時代から残るサザンカラーや、昭和初期に導入された昔ながらの車両など、大正から昭和にかけての歴史が身近に感じとどかる。今でも多くの山手や市街に利用されています。

馬鉄から電車へ

札幌に初めて路面電車が走ったのは、1918(大正7)年8月のこと。その後少し、札幌の運営はその年の春の誕生した「札幌市電気鉄道会社」に託され、1909(明治42)年に馬車道線を開業したことがルーツとなっています。当初は石山筋と抜田の石山の運送業者を中心でしたが、後に新篠塚駅を派生し、社名も「札幌市街馬車道線会社」と改めて路線を呼び広げていきました。

当時の駅舎は「駅舎」と呼ばれて廻しました。一方、駅舎の人形屋敷に関する不確な説があるのですが、沿線で見つかりました。また、1895(明治28)年に北海道で最初の駅舎が開業しました。八戸、八戸駅



1921(大正10)年、当駅跡を走る電車

さっぽろ文化財散歩【札幌の路面電車編】



湖南公园

公館内の札幌駅石垣では、栄治時代、函館鉄道で鉄筋を埋蔵した台座を刺したブザウル、札幌帆船の切り出し技術を解説したパネルなどが設置されており、跡歩きしながら札幌歴史の歴史を学ぶことができます。



1971(昭和46)年5月、西5丁目通りをまちの中心部から新駅駅前につくか、市営「赤坂北」が運行されていました。かつてこの路線を走っていた近畿電鉄213号・248号を現在も残す市内であることができるます。213号は北堀田町(2025[令和7]年1月1日)、248号は電報橋北堀田の松井・丸橋・横浜ブランチの廃止と重なっています。248号が廃止されている広場では、地盤のイベントが行われるなど壁画を題んだ地図の塗りかげが生まれています。壁画の下には地域活性並が開催イベント等は市の内閣公明化しています。



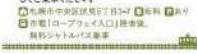
#### 水田的土壤湿润时

**市電終点豊平駅跡**  
市電の廃線跡、駅舎は豊平川を渡って南岸36号線を走り、定山渓温泉の真宮駅前まで延伸されていました。かつて市電「豊平版」が設置されていた付近に当時を物語る銘板が建てられています。銘板の地図で、今道路の形の記憶がわかるかもしれません。  
札幌市電豊平車庫手町口  
札幌市電豊平車庫手町口小石川



第四十二章

**湯若山ロープウェイ**  
市内中心部を循環する三重は市民はもちろん観光客の足としても頼りになります。多くの観光客が降りるのも「ロープウェイ入口」ここから雄大な石狩平野を一望する山の頂上へ向かうことができます。ロープウェイは天候により止まっていることがあるので最新情報を探問してお確かめください。



## 令和7年度事業計画（案）について

### 1 協議会の運営

会議を2回程度開催し、協議会が推進する事業の進捗状況の確認、事業に関するアドバイザーからの意見聴取及び会員による意見交換、文化財の保存・活用等に関する市民意見の共有等を行う。

### 2 札幌市文化財保存活用地域計画に基づく事業の推進

市民意見を反映して設定する関連文化財群及びストーリーを生かし、文化財等を周遊するルートの設定や情報発信の強化を行うとともに、会員とも更なる連携を図り、インバウンド対応も視野に入れた観光拠点としての札幌の魅力向上を図る。

#### (1) 市民ワークショップ開催

【実施時期】 令和7年8月～10月頃

【内容】 20人規模、2回程度の日程でワークショップを開催する。

参加した市民意見を踏まえ、「関連文化財群とストーリー」の設定（1件予定）につなげる。

#### (2) ボランティアガイド支援の実施

【実施時期】 令和7年8月～12月頃

【内容】 文化財や歴史文化の周遊活動を行っているボランティア等を対象とした講習会を1回実施し、関連文化財群等を生かしながら、観光客に対し、札幌の文化財や歴史文化の魅力を効果的に伝えることができるスキルアップを図る。

#### (3) シンポジウム「さっぽろれきぶんフェス」の開催

【実施時期】 令和7年10月～令和8年3月頃

【内容】 札幌の文化財や歴史文化の価値や魅力を周知・啓発するシンポジウムを1回開催する。開催前には、別途パネル展やSNS等を活用し、シンポジウムの告知、及び札幌の文化財・歴史文化に関する情報発信を予定。

#### (4) 関連文化財群及びストーリーを生かした市内文化財のPR及び周遊促進パンフレット作成

【実施時期】 令和7年10月～令和8年3月頃

【内容】 今年度設定する「関連文化財群」等をコンテンツとしたパンフレットを2,000部作成予定。「関連文化財群」のストーリーを生かし、市内の文化財の周遊促進につなげる。作成したパンフレットは、文化財施設や観光案内所等に配布する。

### 3 札幌市ふるさと納税の寄附金を活用した事業

#### (1) 郷土資料館支援業務

【実施時期】 令和7年度中

【内容】 専門家を一部の郷土資料館に派遣し、資料の保管方法や情報発信等について講習を実施し、郷土資料館が抱える課題解決の支援を行う予定。

#### (2) 文化財候補物件調査業務

【実施時期】 令和7年度中

【内容】 無形要素に関する掘り起こし調査を実施する。令和7年度は地域計画の文化財リスト等から無形要素の候補を試行的に拾い上げ、その調査及び評価基準策定のために有識者への聞き取りを実施する予定。

#### (3) 拡大版「さっぽろ文化財散歩」掲載業務

【実施時期】 令和7年度中

【内容】 令和6年度設定の関連文化財群とストーリー「札幌の路面電車編」について、英語版と合わせて「ようこそさっぽろ」に掲載し、周辺の飲食店情報と紐づけし、さらなる札幌市の歴史文化の情報発信を予定（サーバ維持費の支払含む）。

※ 主な事業の進行は札幌観光協会

#### (4) 「さっぽろ文化財散歩」増刷業務

【実施時期】 令和7年度中

【内容】 これまで製作してきた各種パンフレットについて、在庫・配架状況を踏まえて増刷する。

※ 想定スケジュールについては別紙参照。

※ 事業内容及びスケジュールは、変更となる可能性がある。

## 令和7年度札幌市歴史文化のまちづくり推進協議会 スケジュール（案）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会の開催及び運営			協議会議決（前年度事業報告 今年度事業計画）					協議会開催 (関連文化財群・ ストーリーの設定)				
市民ワークショップ開催				企画準備 … 参加者の募集、周知		ワークショップ開催						
ボランティアガイド支援				企画準備 … 参加者の募集、周知		支援事業の実施						
シンポジウム「さっぽろれきぶんフェス」の開催						企画準備・調整	パネル準備	開催				
関連文化財群及びストーリーを生かした市内文化財のPR及び周遊促進パンフレット作成						構成検討 素材収集等	パンフレット作成・印刷	配布				
郷土資料館支援業務						委託業者等と調整し隨時進めていく						
文化財候補物件調査業務						委託業者等と調整し隨時進めていく						
拡大版「さっぽろ文化財散歩」掲載業務						委託業者等と調整し隨時進めていく						
「さっぽろ文化財散歩」増刷業務						委託業者等と調整し隨時進めていく						

※ 事業内容及びスケジュールは、委託業者との調整により変更する可能性がある。

